

援があるとはいえ、今後極めて厳しい財政運営を強いられることは確実です。

また、市民サービスへの影響については、「不透明な部分が多く、今後どの程度市民サービスへの影響があるかについては答えられない」とのことでしたが、影響が出て来ると部分としては、子供医療費の助成範囲の拡大のように、国や県からの補助に市独自で上乘せしている事業、介護関係の市独自の事業など、福祉分野の多くの事業が該当することが想定されます。

市税等の歳入の減少、新たな歳出の増加により極めて厳しい財政状況となりますが、特に子育て世代や高齢者に対するサービスの低下を避け市民が少しでも安心して生活できるような市政運営に努めていかななくてはなりません。

この難局を乗り切るためには、議員だけではなく、市民に対してもしっかりと厳しい現実をお知らせし、執行部と議会、そして市民が知恵を絞り合い、協力していくことが非常に重要ではないでしょうか。

## 終わりに



冒頭でも述べましたが、台風15号、19号、そして10月25日の大雨により、市内の至るところで甚大な被害が発生し、4か月以上経過した現在においても復旧・復興の目途が完全に立っていない状況です。

議会としても、被災直後に『議会災害対策会議』を立ち上げ、各地区の被害状況や各町内会のニーズを議員間で共有するとともに、災害対策本部に情報提供・要望として伝えて来ました。今回のような大災害は初めての経験であり、これまでの市や市議会の対応を検証し、今回の経験をどのように今後活かしていくかについての検討を始めたところです。

発災以来、ボランティアのみなさんと一緒に、被害の大きかった富崎地区で、屋根のブルーシート張りや

瓦礫の撤去作業などのお手伝いを続けて来ましたが、まだまだボランティアが必要とされているにも関わらず、昨年の10月27日をもって災害ボランティアセンターが閉鎖され、現在では、『NPO法人おせっかい』を中心とした有志のメンバーで作業を継続しています。一日も早い復旧復興を目指し、一個人としてボランティアに参加するとともに、議員活動を通じて、引き続き全力で取り組んで参ります。

館山市を『住んでよかったと思えるまち』にするために、これからも市民の皆さまの声を市政に反映していきたいと考えておりますので、ご要望・ご提案などありましたら遠慮なくお申し付けください。

館山市の抱える様々な問題や課題の解決へ向け、議会質問などを通して粘り強く要望・提案をして参りますので、これからも温かいご支援とご指導をよろしくお願いいたします。